

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	会社の介護方針「個別ケア」「認知症ケア」「看取りケア」「地域ケア」を大切にする4つの介護方針の基、平成29年に柿崎区内では初めての小規模多機能居宅介護をオープンしました。ご利用者様一人一人が住み慣れた地域の中で自分らしく生活が継続できるよう支援していきます。
事業所名	あったかほーむ柿崎	管理者	篠原 拓也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0	1人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	4人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価の事前説明を各テーマごとに活動状況や何に対しての評価なのかを評価前に説明し全職員が理解した上で事業所評価を行う。	職員に対して自己評価を行う前に時間を設け各項目の取り組み状況を説明した。	・事業所評価を見て取り組んでいることが分かった。	日頃より職員に運営状況と活動状況を共有し分かりやすく説明する事で理解を深め事業所自己評価を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者様の居室や共有スペースの換気を定期的に行い臭い対策と同時に感染症対策も行う。	居室や共有スペースの換気を定期的に行い臭いや感染予防の取り組みめた。	・日中、事業所の玄関の鍵はかかっているのは確認できた。 ・事業所内は明るく綺麗だと感じた。	事業所の居心地の良い空間にするために温度調節やホール等の明るさ、音や臭い職員の接遇も環境の要因と考え対応する。
C. 事業所と地域のかかわり	感染症の状況を確認しながら可能な範囲で人数や場所に留意して地域のイベントや行事に参加し地域の方との繋がりを作る。	行事には出向いての参加は出来なかったが事業所紹介の用紙を作成し出展して関わる事ができた。	・事業所と地域の関りがどの程度あるか分からない。	可能な範囲での参加をする。直接参加することが難し時は出来る方法で参加し事業所と地域の関りを持つ。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	感染症の状況に留意しながらイベントや行事に参加をし利用者様と地域との繋がりを持てるようにする。	利用者様にイベントに参加して頂く事は出来なかったが地域のボランティアの方に来て頂き交流の機会を作れた。	・感染症の影響もあると思うが可能な範囲での入居者の方のイベント参加をしてもらえればと思う。	参加人数や参加方法を検討して参加し地域の中で暮らしていることを感じて頂けるよう支援する。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議や事業所評価前に資料を見て頂いて具体的にどの様に取り組んでいるかどの様な活動を行っているか分かりやすく説明する。	毎回ではなかったが事業所評価の項目に関する事を説明させて頂いた。 分かりづらかった点や説明不足だった所が多かった。	・町内会では区長というよりは担当の役員を決めて会議の出席者としていたい。	定期の会議の際に事業所評価の項目について説明させて頂く。 又、それに対し意見を頂き改善した方が良い事は改善する。
F. 事業所の 防災・災害対策	事業所の災害訓練に参加、見学して頂きどのような対応や計画をして動いているか確認して頂く。 感染症の状況で参加や見学が困難な場合は訓練報告書を見て頂き説明をする。	避難訓練に参加して頂くことは出来ず訓練報告書を見て頂きどのように行っているか説明させて頂いた。 地域で防災についての連携を図ることが出来なかった。	・今年の年始の地震の時に連絡をもらった。 ・6区としては防火計画を書面だけでも知っておきたい。 普段どの程度の人数がいるか。	町内会や地域の消防団と交流の機会をつくり事業所の防災計画や日中と夜間の際の人数の報告や有事の際にどのような協力をお願いしたいか話し合いたい。